

日 時	タイトル名	場所・座席	料 金	チケット 発売場所	未就 学児
3/22 (土)	開演14:00 (開場13:30) デビュー50周年記念 千住真理子ヴァイオリン・リサイタル	大ホール 全席指定	一般 4,500円 メイトの会会員 4,000円 (当日各500円増)	発売中 ホ □ e+ ぴ	×
出演：千住 真理子 (ヴァイオリン)、山岡 智 (ピアノ) 曲目：G線上のアリア／J.S.バッハ ほか					
5/11 (日)	開演14:00 (開場13:30) 神田伯山 独演会	小ホール 全席指定	4,000円 (お1人2枚まで)	※ ホ □ e+	×
※3月16日(日)10:00～窓口発売 (発売初日のホールへの電話予約は13:00～。ただし窓口で完売した場合、電話受付はございません。)					
5/25 (日)	開演14:00 (開場13:30) 春風亭一之輔独演会	大ホール 全席指定	一般3,800円 メイトの会会員 3,500円 (当日各500円増)	※チケット発売開始 3月9日(日)10:00～ メイトの会先行発売 3月7日(金)10時～ いずれも発売初日の電 話予約は13:00～ ホ □ e+ ぴ	×
出演：春風亭 一之輔ほか					

※チケット欄の記号=発売場所 〔ホ〕:DMG MORI やまと郡山城ホール窓口 〔ぴ〕:チケットぴあ 〔□〕:ローソンチケット 〔e+〕:イープラス

DMG MORI やまと郡山城ホールサポーター募集

日頃から文化・芸術に関心のあるみなさん、ボランティアとして楽しみながら参加してみませんか？

活動内容=チケットのもぎり、観客の誘導・案内、その他

募集人数=20人 ※先着順に受け付けし、募集人数に達し次第締め切ります。

対象=18歳以上(高校生除く)の文化芸術に関心のある人で、主催事業のある日に活動できる人

応募・問合せ=3月8日(土)9時～(休館日を除く)、DMG MORI やまと郡山城ホール事務局(☎ 54-8000)へ



市長てくてく城下町 230

幻の天守(閣)

大和郡市長 上田 清

郡山城天守台展望施設の完成後、令和4年度の国史跡指定をはさみ、旧城内学舎跡地で進められている歴史公園の整備も最終段階に入り、今春のお城まつりにあわせて一般開放される予定ですが西側から眺める天守台の姿は新鮮で、夕日に映える石垣が新たな魅力を演出しています。

16世紀末、筒井順慶が築城に着手し豊臣秀長の時代に本格的に整備されたとされる郡山城。

その天守(天守閣)については、関ヶ原の合戦後に解体されたとも伝わりますが、どのような天守だったのか外観を示す史料がなく、また江戸時代に作成された絵図にも天守が描かれていないため実際に天守があったのかどうかも含めて、長らく不明の状態が続いていました。

そうしたなか、平成25年度から行われた天守台の整備事業に伴う発掘調査で、天守の礎石や金箔瓦が発見され、豊臣政権期に天守が存在していたことが初めて明らかになったのです。

天守の規模は1階部分が7×8間(約13×15m)で、5階建ての建物であったと推定されています。

豊臣政権の権威を示し、強力な寺社勢力と向き合う必要があった大和国を支配するにふさわしい天守だったの

ではないでしょうか。

もっともその建て方は、礎石に大きな木を縦と横に渡し、そこから柱を立ち上げるといもので天守台をしっかりと固めて基礎を打たない限り、今の基準ではおよそ認められない工法でした。

一方、昭和の高度経済成長期には全国で多数の鉄筋コンクリート製天守がつくられます。郡山城でも昭和54年と平成16年、親子まつりにあわせて発泡スチロール製の模擬天守が登場したり、昭和58年からは追手門などの櫓(やぐら)が再建されるなか天守の復元を求める声もありましたが、現状では絵図が存在しないため、国史跡における復元の許可は難しいと考えているところです。

来年、築城450年を迎える安土城も史料がほとんどなく、天守の復元は断念されました。

新たな絵図の発見や、建築技術の進歩に期待を寄せつつ、今は現地で「ココシル 大和郡山 城下町」のVR天守を眺めながら、豊かな歴史に思いを巡らせていただければと願っています。

まち歩き情報サービス「ココシル 大和郡山 城下町」のダウンロードはこちらから。

